



栄中だより

平成27年 3月2日発行 第13号

生徒数 1年生 144名 2年生 135名 3年生 143名 計 422名

学校教育目標

- ★自ら学ぶ生徒
 - ★豊かな心を持つ生徒
 - ★心身を鍛える生徒
- ～あはは学校・あいう学校の栄中～



3年生へ 『笑顔で15の春を...』

校長 大橋 均



生まれてから15年、君はどれだけの人と出会ってきたことだろう。悔しくて、悲しくてとめどなく流れ落ちる涙をどうすることもできなかった日もあっただろう。そんなときそばにいてくれた人は誰だろう。誰が支えていてくれたのだろう。嬉しくて嬉しくてじっとしてられない日もあっただろう。そんな時、一緒に心から喜んでくれた人は誰だろう。

世の中には自分一人で大きくなったかのような顔をしている人もいるが、全ての事の始まりは必ず誰かのお世話になっているものだ。

15の春の卒業の日。君たちはたくさんの人たちから「おめでとう！」と声をかけられるだろう。その時、心から「ありがとうございました！」と感謝の気持ちをあらわせる人だけが、真の意味で9年間の義務教育を卒業していく人なのだろう。

君たちが卒業していったあとの教室は、思い出より淋しさが支配している。『ああ、もうここには戻って来ないのだなあ...』というセンチメンタルな気分が担任に溜息をつかせる。

この3年間で君たちが大きく成長したように担任もまた成長していたのである。溜息は君たちとともに学び合いたかった無念さでもある。

例えば“笑顔と感謝に満ちた卒業式の日”にしよう。”と言葉にすることは簡単だ。しかし、そこに“みんなが”という条件が入ると思いのほか難しくなる。しかし、どんなに難しくても実現にむけて、最大の努力をしなければならない。なぜなら、人生の中でたった一度の春だからである。

故 船水 真先生 (s57年～s61年本校職員)「夢伝説」の一節より

「中学生に贈りたい詩
40」より

少年の日に読んだ一家は、きこういう言葉で終わる。僕はこの言葉が好きだ。物語は終わっても、僕らの人生は終わらない。僕らの人生の不幸は終わりがなく、常に希望を失わず、常に前進していく。物語のなかのルミよ。僕はあの健気なルミが好きだ。辛いこと、厭なこと、哀しいことに、出会った。僕は弱い自分を励ます。前へ。

前へ

大木 実

2月の行事～学校ホームページから

3月で卒業する3年生の行事を主に載せました。

2/27(金) 3年総合 茶道体験



茶道体験学習を行いました。講師として、市内在住の佐藤宗京先生はじめ6名の先生方に、裏千家の「お茶の点て方」、「お菓子、お茶のいただき方」から、茶室における「和敬静(清)寂」の心構えなどを学びました。足はしびれましたが、貴重な体験ができました。



2/26(木) 3年生 親の学習



3年生対象に「親になるための学習」を実施しました。三郷市青少年育成市民会議より「親の学習」ファシリテーターの方をお招きし、各クラスで授業をしていただきました。生徒の感想の一部を紹介します。「自分の名前の由来、生まれた時の体重、身長などを知り、親がどれだけ頑張ってくれたのかが改めてわかりました。」「親にもっと感謝したいと改めて思いました。」等々・・・【3学年通信より】

2/20(金) 3年生 保育実習



3年の全クラスが新和幼稚園へ行き、保育実習をしました。家庭科の授業で作成した絵本やボトルボウリング等のおもちゃを持参し、園児たちとふれ合ってきました。栄中生の一生懸命さが伝わってきました。



H26年度学校自己・関係者評価の報告

平成26年度 学校評価報告書		三郷市立栄中学校	
評価項目	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果
組織運営等の状況	1 学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。	B	A
	2 学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあっている。	B	B
	3 学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	B	A
	4 学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り組織的に取り組んでいる。	B	A
	5 学校は、教職員の服務規律の確保に努めている。	A	A
	6 学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	B	A
授業等の状況	7 教職員は、学力向上を目指し、児童生徒の実態に基づき授業改善に努めている。	A	A
	8 児童生徒は、基礎的・基本的な学力を身につけている。	C	C
	9 教職員は、「授業の心得」に基づき授業を進め、教職員の共通理解を図り、指導にあたっている。	A	A
	10 児童生徒は、落ち着いた雰囲気の中で、学習内容を理解しようとしている。	B	A
	11 学校は、図書読書活動を充実させ、読書活動を推進している。	A	A
	12 児童生徒は、主体的に読書活動に取り組んでいる。	B	B
指導・管理の状況	13 教職員は、規則正しい食事を大切にする意識を高めようとしている。	B	B
	14 児童生徒は、体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組んでいる。	B	B
	15 学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育を積極的に推進している。	B	B
	16 教職員は、道徳授業の工夫改善に努めている。	B	B
	17 教職員は、自ら手本となる等、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	B	B
	18 児童生徒は、友達や教職員・来校者に進んであいさつをしている。	B	B
生徒指導・安全・安心・安全	19 児童生徒は、「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いをしている。	B	B
	20 学校は、児童生徒の不登校・非行問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	B	A
	21 学校は、保護者(必要)に応じ関係機関と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	B	A
	22 児童生徒は、いじめや意地悪な行為をすることなく、お互いのよさや努力を認め合い学校生活を送っている。	B	B
	23 学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・提示し、迅速に対応できる体制を整えている。	B	B
	24 学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。	B	B
家庭・地域との連携状況	25 学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れている等、組織的に環境美化に努めている。	B	A
	26 学校は、学習環境充実のため、教材・備品を整備している。	B	B
	27 学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報提供している。	A	A
	28 学校は、保護者や地域と連携し不登校対策のフォロー等、計画的に実施している。	B	A
	29 学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。	A	A

①②③④
「『読書好きで学力向上の基礎となる読書活動』を推進し、児童生徒の読書習慣の定着を図る。」「『読書好きで学力向上の基礎となる読書活動』を推進し、児童生徒の読書習慣の定着を図る。」「『読書好きで学力向上の基礎となる読書活動』を推進し、児童生徒の読書習慣の定着を図る。」「『読書好きで学力向上の基礎となる読書活動』を推進し、児童生徒の読書習慣の定着を図る。」

3月～卒業・進級と3月は別れの多い月。思い出を大切に！～

日 曜日	学 校 行 事 等	日 程 変 更 等
1 日		
2 月	職員会議 埼玉公立学力検査 下校時間 17:30	※3年学年時間割3/2～
3 火	埼玉公立実技・面接等 学校応援団会議	
4 水		
5 木	専門委員会 学校評議員会 11:00～	③④⑤⑥①②
6 金	千葉公立入学候補者発表	
7 土	花咲かせ隊	
8 日		
9 月	全校朝会	
10 火	埼玉公立入学候補者発表 1・2年学年練習	金①②③④⑤⑥
11 水	2年生保護者会、1・2年合同練習	
12 木	卒業式予行 結ぶ会 3年給食終了	
13 金	全体練習 1・2年合同練習 卒業式準備	
14 土	第41回卒業証書授与式	
15 日		
16 月	振替休日	
17 火	1年保護者会 中央委員会	
18 水	生徒朝会 小学校との合同会議	
19 木	職員会議	
20 金	安全点検日 給食終了	
21 土	春分の日	
22 日		
23 月	学年時間割 1年球技会 ふれあいデー	
24 火	学年時間割	
25 水	学活・集会・掃除	
26 木	修了式	
27 金	学年末休業日	
28 土		
29 日		
30 月		
31 火		

H26年度=学力向上・元気な生徒・元気な学校を目指します

《そのためには、...》
授業と家庭の協力で元気な生徒づくり!! 学力向上!

学校自己評価がまとまりましたので報告します。これは、栄中職員が行った学校自己評価と、それを基に学校関係者の7名の皆様よりご指導いただいたものです。結果をA～Dで評価し、次の年度の教育活動に生かしていくねらいがあります。また、これ以外にも保護者の皆様からいただいた保護者アンケートにつきましても同様に扱わせていただきます。